

機能要件確認書

龍ヶ崎市学習用クラウドサービス利用契約に係る公募型プロポーザルの企画提案について、各種機能の対応状況を下記にて回答いたします。

所在地 _____

商号又は名称 _____

代表者肩書及び氏名 _____ 印

1 授業支援アプリ機能要件

項目		No.	要件	種別	対応状況
基本機能	システム	運用管理	1 自治体が一括して各学校の名簿を登録・編集できること。	必須	
	編集	ペン描画	2 ノート(エリア) 上にペンで書き込みができること。	必須	
		貼付け	3 ノート(エリア) 上に各種メディア(図形、ふせん(カード)、画像、カメラ)を貼り付けられること。	必須	
		ロック	4 児童生徒がノート(エリア) 上に貼り付けた各種メディアをロックできること。	任意	
	発表	プレゼンテーション	5 児童生徒が編集したノート(エリア)をつなぎ合わせ、プレゼンテーションを行えること。	必須	
	その他	テンプレート	6 学習に活用できるテンプレートを有していること。	必須	
教員機能	配布	課題配布	7 児童生徒に対して、ノート(エリア)を課題として配布できること。	必須	
			8 課題に対して期限を設定できること。	必須	
		グループ配信	9 個人又は任意のグループに対して、課題を配布できること。	必須	
	表示	課題表示	10 配布した課題と児童生徒が編集したノート(エリア)が、関連付けられて画面上に表示されること。	必須	
		検索	11 過去の授業で配布した課題を検索でき、課題名、配布範囲等で検索対象を絞り込めること。	必須	
			12 過去の授業で配布した課題を検索する際には、検索画面上で、配布したノート(エリア)のサムネイルを確認できること。	必須	
		拡大・比較表示	13 教員が、児童生徒が編集したノート(エリア)をリアルタイムに一覧で表示し、拡大表示や比較表示ができること。	必須	
		匿名化	14 児童生徒が編集したノート(エリア)を一覧で表示する際、児童生徒の名前を非表示にし、ランダムに並べて表示できること。	任意	
	共同編集	同時編集	15 一つのノート(エリア)に対して、複数の児童生徒が同時に編集できる機能(共同編集機能)を有すること。	必須	
		全体閲覧	16 共同編集機能の利用時は、児童生徒が参加者又は参加者共有のノート(エリア)を閲覧・編集できること。	必須	
		賛同表示	17 共同編集機能の利用時は、ふせん(カード)等に対して、他の人が賛同を表示できる機能を有すること。	必須	
		集計機能	18 ふせん(カード)等に対して、キーワード集計、選択肢集計、スタンプ集計等によって簡単に意見の集計を行うことができること。	任意	
	その他	評価	19 課題として配布したノート(エリア)に対して、児童生徒への評価コメントやスタンプをつけられること。	必須	

2 AIドリル機能要件

項目			No.	要件	種別	対応状況
基本設計	システム	運用管理	1	自治体が一括して各学校の名簿を登録・編集できること。	必須	
		ユニバーサルデザイン	2	アクセシビリティ対応として、次のいずれかの要件を満たすこと。 ・「JIS X8341-3:2016」が規定する「レベルAA」に準拠 ・背景色、文字の大きさ、字間、行間等が変更可能	必須	
		ルビ	3	総ルビ表示する／しないを児童が選択でき、外国人や特別支援の児童に合理的な配慮がされていること。	任意	
		ナビゲーション	4	操作が直感的で起動から最短3タップで学習を始められること。	必須	
	教材	教科書準拠	5	教科書の単元に対応し、本市が採択する教科書(資料2「採択教科書一覧」)の単元の掲載順に合わせた問題を表示できること。 ※小学校の英語を除く。	必須	
		対応教科及び学年	6	小学校1～6年生の国語・算数・理科・社会・英語を収録し、該当学年以外の内容も学習できること。	必須	
		問題数	7	総問題数は、小学校のみで合計して40,000問以上であること。	必須	
		難易度別問題	8	各教科において、知識・技能を問う基礎的な問題及び思考・判断・表現等を問う発展的な問題が難易度別に用意されていること。	任意	
		問題形式	9	手書き、選択(単一／複数)、並べ替え、分類、数値入力など、問題適性に応じた形式であること。	必須	
	基本機能	採点	10	児童が解答した内容に対して即時に自動採点されること。	必須	
			11	英字、数字を含む数式(文字列)に対して自動採点されること。	必須	
		手書き認識機能	12	漢字問題では手書き認識機能を有し、児童の字形や筆順に対して自動フィードバックを行えること。	必須	
		出題(AI機能)	13	算数において、問題に不正解した際、児童の解答状況に応じた遡り問題を出題できること。	必須	
			14	児童の学習状況及び習熟度に応じて、一人一人に最適な問題を出題できること。	必須	
			15	児童の学習期間や学習状況等に基づくレコメンドを行い、忘れてしまう前に復習を促す機能を有すること。	任意	
教員機能	確認	取組状況の把握	16	教員が児童の取組状況をリアルタイムで把握でき、個別指導等に生かせる仕組みを有すること。	必須	
		指導や評価等への活用	17	教員が児童ごとの学習結果、学習回数等の情報を一元的に確認でき、普段の指導や学期を通じた評価等に活用できること。	必須	
	配信	問題の配信	18	教員が任意の問題をクラス一斉又は個別に出題できること。	必須	
		AIによるワーク(問題集)の生成	19	設定した単元や時間、難易度、児童の習熟度に応じて、AIが問題を自動で選択し、ワーク(問題集)として出題できること。	必須	
			20	生成されたワーク(問題集)に手動で問題の追加や削除ができるとともに、ワーク(問題集)を他の教員と共有できること。	任意	
		正誤状況や正答率の確認	21	児童は、学習履歴確認画面又は教材一覧画面から、取り組んだ問題の正誤状況や各単元の取組状況などの情報が一覧で確認できること。	必須	
		中断再開	22	誤答問題に再度取り組める機能を有し、問題の取組途中で中断しても、続きから始められること。	必須	
		学習意欲を高める仕掛け	23	解答状況に応じてメダル等の報酬が付与されるなど、児童の学習意欲を喚起する仕掛けがあること。	必須	

【留意事項】

- ・「対応状況」の欄に「対応可」又は「対応不可」の別を入力すること。
- ・必須機能に「対応不可」が1つでもある場合は失格とする。
- ・任意機能に「対応可」の項目がある場合には、二次審査での内容評価で加点する。